

IBC (International Broadcast Centre) の計画と運営

受注者は世界各国のRHBに配信する国際映像の分配拠点であるIBCを運営する。受注者は発注者とともにIBC全体を管理・運営する。

また受注者は、以下のエリアで必要な機器と要員を用意し、運用する。IBCは原則24時間体制で運営予定のため、関わる要員数とその勤務計画を十分に考慮して業務を行う必要がある。

また、ア～キに関しては、別契約受注者が制作する映像・音声信号も受注者が制作する映像・音声信号と同様に取り扱うものとする。クに関しては、別契約受注者が運営する競技会場に関しても、同様に取り扱う。

ア. CDT (Contribution Distribution Transmission)

受注者は、競技会場から送信されるすべての映像・音声信号（実況・解説を除く）をIBCで受信し、監視用モニターウォール及びマトリックスで監視し必要に応じて修正する。ブッキングに応じてRHBのユニラテラルスペースに映像・音声信号を配信する。また、公式ホテルや組織委員会本部などで競技映像を視聴できるよう、映像・音声信号を事業者に配信する。

イ. Telecoms Office

受注者は、通信プロバイダーが回線状況を監視するための映像・音声モニターを用意する。

ウ. CSC (Commentary Switching Centre)

受注者は、競技会場からの音声信号（実況・解説）をIBCのRHBユニラテラルスペースに配信する。

エ. QCR (Quality Control Room)

受注者は、映像・音声の品質を管理しなければならない。ベニューから伝送される映像・音声の品質に問題がある場合は、該当するベニューマネージャーに連絡し、問題の解決を図る。

オ. CER (Central Equipment Room)

受注者は、映像音声機材、サーバー、ネットワーク機器の設置をし、各機器の管理・運用をする。

カ. Logging & Highlights Centre

受注者は、発注者が手配するボランティアに対して業務の指導をし、ボランティアは競技会場から届いたライブ映像にハイライト作成のために主要

シーンにキャプション、メタデータ、ログをつける。受注者はボランティアの実施した業務を管理する。なお、メタデータ、ログ管理についてはOCAが指定する。

また、受注者は以下の仕様のハイライトを制作する。なお、ファイル形式、はOCAが指定する。

- ・大会期間中毎日：5分×1本、54分×1本
- ・大会終了後：120分×1本
- ※すべて英語コメンタリー、TVG付き

キ. 映像の保存と納品

受注者は、制作したすべての映像（ライブ フィード、ENG 映像、ハイライトパッケージ等）をデジタルストレージハードドライブ/クラウドで安全に保存する。また、OCAライブラリーに、指定フォーマットでアップロードする。

受注者は、閉会式終了後14日以内に、大会のすべての映像データをOCAアーカイブに2セット、発注者に1セット、発注者が指定する媒体で計3セットを納品すること。OCAアーカイブに対する納品に際しては適切な保険に加入し、指定する宛先へ直接発送すること。

ク. Booking Office

受注者は、RHBが円滑に活動できる環境を整えるために、ブッキングオフィスを設置し、経験豊富なスタッフで運用する必要がある。ブッキングサービスは、競技会場又はIBCで予約された情報を即時に確認できるシステムを運用し、RHBに対して提供する（少なくとも以下の設備を含むものとする）。

使用料金がかかる場合はレートカードによって課金される。集金方法については、契約後に協議のもと決定する。

- ・IBC内のブッキング

放送権者の要件に対応できるノンリニア編集機器	2式
オフチューブコメンタリーブース	3式
- ・競技会場内のブッキング
 - カメラポジション
 - コメンタリーポジション
 - アナウンスプラットフォーム
 - プレゼンテーションスタジオ
 - ミックスゾーン
 - ほか
- ・その他ブッキング
 - 競技会場とIBC間の伝送回線
 - AGIS

ケ. RHB専用のユニラテラルスペース

受注者は、発注者と連携し、CDTからユニラテラルスペースへの伝送回線などを設置する。設置に必要な費用は、レートカードに従ってRHBが支払うものとする。

コ. MMC (Main Media Centre) の整備及び運営への協力

発注者が別途契約するMMC仮設オーバーレイ整備事業及びMMC運営において、以下の項目についての設計条件等の提示、規則等の遵守をすること。また、提示した設計条件等が変更となった場合は発注者と協議の上、変更する。

項目	期限
IBCの電気設備設計における与条件の確定	2025年7月
HBエリアの設計与条件、備品・什器レイアウトの確定	2025年10月
HBエリアの電気設備配線計画	2025年10月
既存設備及び発注者が整備した仮設物を加工する際の書面による事前申請	随時
非常時の避難誘導やMMC維持管理マニュアルなどMMC運営に係るルールの順守	2026年8月～11月

また、以下の項目を例として、発注者からの相談に対して助言するなど協力すること。

- ・ブッキングのとりまとめをはじめとするRHBに対する窓口業務
- ・IBCの整備・維持管理・運営に関する専門的助言

サ. ビューティーフィード

受注者は発注者が選定した箇所に、撮影機材を設置・撮影し、IBCまでの伝送をする。通信は組織委員会が用意する。設置個所は以下の予定。

1. 名古屋城ビューポイント
2. 名古屋テレビ塔ビューポイント
3. 瑞穂陸上競技場（メイン会場）ビューポイント
4. 聖火台ビューポイント
5. その他愛知県内1か所

【IBCの基本情報】 ※図面は別紙1-10参照

施設名称：名古屋市国際展示場（MMC内に設置）

名古屋市国際展示場の主な用途：

第3展示館 IBC、MPC
 交流センター メインエントランス、レストラン
 イベント館 記者会見室

バンプイン：2026年8月1日から2026年9月8日予定

オープン：2026年9月10日から2026年10月6日予定

バンプアウト：2026年10月6日から10月9日予定（期間内にすべての撤収作業を終えること）